

「皮膚真菌症」の話

「水虫」「いんきんたむし」「ぜにたむし」「しらくも」・・・

いわゆる「カビ、酵母、キノコ」も真菌に含まれます。ヒトに対して病原性を持つ真菌により真菌感染症（真菌症）が生じます。真菌感染症のうちで、主に皮膚に病巣があるものが、「皮膚真菌症」と呼ばれます。

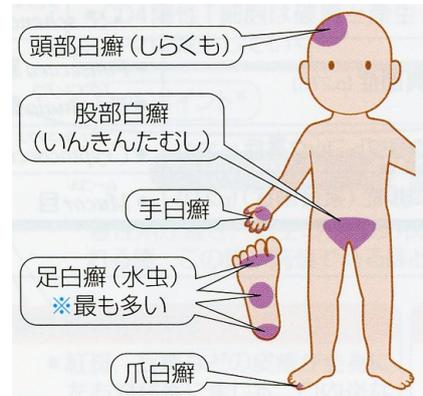
「表在性」皮膚真菌症と「深在性」皮膚真菌症に分けられます。

分類	主な真菌症	原因真菌
表在性皮膚真菌症 表皮、毛包、毛髪、爪、口腔や外陰部などの粘膜に感染したもの	白癬	トリコフィトン • <i>Trichophyton</i> 属 • <i>Microsporum</i> 属 • <i>Epidermophyton</i> 属
	皮膚・粘膜カンジダ症	カンジダ • <i>Candida</i> 属 • <i>C. albicans</i> • <i>C. albicans</i> など
	マラセチア感染症 (癬風、マラセチア毛包炎)	マラセチア • <i>Malassezia</i> 属 • <i>M. globosa</i>
深在性皮膚真菌症 真皮より深部へ感染したもの	黒癬	ホルタエア • <i>Hortaea werneckii</i>
	スポロトリコーシス	スポロトリクス • <i>Sporothrix</i> 属 • <i>S. globosa</i> • <i>S. schenckii</i>
	黒色真菌症	ファンセカエア • <i>Ponsecaea</i> 属 • <i>Exophiala</i> 属
	皮膚クリプトコックス症	クリプトコックス • <i>Cryptococcus</i> 属
	ムーコル症 (接合菌症)	ムーコル • <i>Mucor</i> 目

白癬

皮膚糸状菌（主に白癬菌属）による感染症です。皮膚糸状菌はケラチンを栄養源とするために、ケラチンの豊富な皮膚角層、爪、毛に感染します。感染部位により「足白癬」、「爪白癬」、「手白癬」、「体部白癬」（＜ぜにたむし＞）、「股部白癬」（＜いんきんたむし＞）、「頭部白癬」（＜しらくも＞）といった病型に分類されます。

病変の深さ	感染部位	病型	
〔浅在性〕白癬 菌の感染が角層や爪、毛に局限するもの	皮膚角層	手	手白癬
		足	足白癬(水虫)
		体部	体部白癬(ぜにたむし)
		股部	股部白癬(いんきんたむし)
炎症性白癬 浅在性白癬の炎症が真皮(毛包)まで及んだもの	毛	毛髪	頭部白癬(しらくも) ケルスス とうきょう Celsus 禿瘡
		髭部	白癬菌性毛瘡
深在性白癬 真皮や皮下組織に感染したもの	真皮・皮下脂肪組織	白癬菌性肉芽腫	

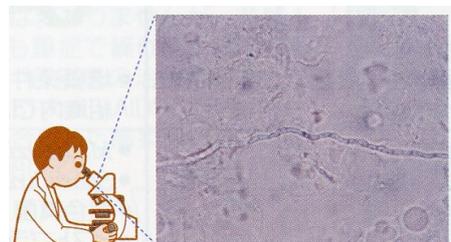


股部白癬、体部白癬

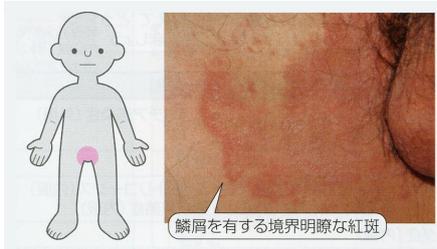
いわゆる「いんきんたむし（股部白癬）」、「ぜにたむし（体部白癬）」

外陰部とその周囲の皮膚（股部白癬）や、それ以外の生毛部（うぶ毛が生じる部分）にも発生します。

強いかゆみを伴う境界の明瞭な環状の紅斑をきたします。中心治癒傾向が認められる傾向があり、「カンジダ症」との鑑別点とされます。（図右）



図(上) : 白癬の確定診断には、病変部(鱗屑、爪、毛髪など)からの組織を採取し水酸化カリウム(KOH)で角層を溶解後に顕微鏡で観察し診断されます。隔壁を持つ糸状の菌糸が認められます。



図(左)：股部白癬
 青年の男子に好発します。



図(右)：体部白癬

足白癬：いわゆる「水虫」

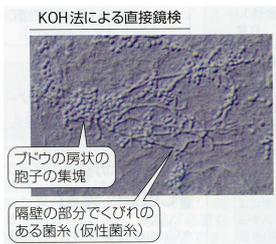
「白癬」の半分以上を占める最も多い病型です。症状により趾間型、小水疱型（汗疱型）、角化型（角質増殖型）の3つの病型に分類されます。（図右）

爪白癬を合併することもあります。

カンジダ症（図右下）

口腔、消化管、膣などの粘膜や、腋窩、陰股部などの間擦部に常在するカンジダ属の真菌（図下）が、内因性感染を起こし発症します。

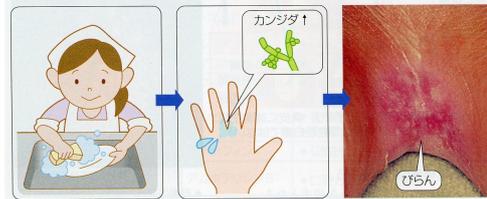
	趾間型	小水疱型(汗疱型)	角化型(角質増殖型)
好発	●第4趾間(第4趾と第5趾の間)に好発する。 ●温暖な季節に起こりやすい。	●土踏まず、足趾基部、足側縁に好発する。 ●温暖な季節に起こりやすい。	●足底(特に踵部)に好発する。 ●かなりまれ。
症状	●趾間に限局して紅斑、小水疱をきたし、鱗屑を形成する。 ●痒痒を伴う。 ●汗などで白く浸軟し、掻破によりびらんとなることもある。	●小水疱、小膿疱が多発し、乾燥して鱗屑を形成する。 ●水疱の出現時に強い痒痒がある。	●足底全体に過角化(角層の肥厚)を認め、鱗屑を伴う。 ●痒痒はほとんど認めない。 ●踵部に亀裂を形成し、疼痛を伴うことがある。
所見	趾間に鱗屑を認める。	足底に小水疱の集簇を認める。	足底全体に角層の肥厚を認める。



分類	疾患	部位
皮膚カンジダ症	カンジダ性指趾間びらん症	指間、趾間
	カンジダ性間擦疹	間擦部(腋窩、乳房下、陰股部、肛門など)
	乳児寄生菌性紅斑	肛門、陰股部、背部
	カンジダ性爪囲・爪炎	爪周囲
	爪カンジダ症	爪実質
粘膜カンジダ症	慢性皮膚粘膜カンジダ症	皮膚、口腔粘膜、爪
	口腔カンジダ症	口腔粘膜、舌
	外陰腔カンジダ症	外陰部

カンジダ性指趾間びらん症（図右）：湿った指趾間に発症します。水仕事に従事するヒトや主婦に好発します。

皮疹の特徴は、白く浸軟した鱗屑を伴う紅斑が生じ、中央に「びらん」が形成されます。

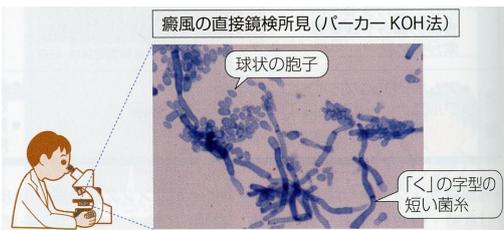


カンジダ性間擦疹（図右）：間擦部、すなわち腋窩、乳房下、陰股部、肛門などに発生します。皮膚・粘膜カンジダ症の半数を占めます。夏季に発生しやすく、多汗症、肥満者、長期臥床者に好発します。乳児に発症したものは「乳児寄生菌性紅斑」と言われます。



粘膜カンジダ症：「口腔カンジダ症（図右下）」「外陰腔カンジダ症」が代表的です。

マラチア感染症：マラセチア属は、毛包に常在する真菌です。高温、発汗、皮脂の分泌過剰などの誘因で過剰に増殖すると「癬風（でんぼう）」「マラセチア毛包炎」を引き起こします。



図(左)は、「癬風」の顕微鏡による診断です。診断に適した「パーカーインキ・KOH法」（水酸化カリウムで角質層を水解しパーカーインキによる菌要素の染色を同時に行う方法）で特徴的な所見が観察されます。



図は、「病気が見える vol.14 皮膚科」<MEDIC MEDIA>、資料<オラビ錠口腔用>@富士フィルム から引用しました。

この「診療所だより」や診療についての御意見・御要望などをお気軽にお寄せ下さい。これからの参考にさせていただきます。

編集・発行： 勝山諒亮

勝山診療所

〒639-2216 奈良県御所市343番地の4（御国通り2丁目）
 電話：0745-65-2631